

令和元年度 事業所における自己評価結果

放課後等デイサービスひろば

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・おやつや制作など車イスで活動するスペースと車イスから降りて遊びや休息をとるスペースを分け安全を考慮して環境設定を行っています。また、マットや畳でも遊びと休息のスペースを分け安全に過ごせるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であるか			○	・年度途中、常勤職員が休職した為、今年度中の補充に努めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・利用されている方からも不便を感じているご意見はいただいていない状況です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・栄養士と給食会議、看護師と連携会議等を行っています。広く職員がというところまでには至っていません。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者の方からの意見や要望をもとに改善できるようにしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・昨年度までは施設内での開示でしたが、今年度は法人のホームページがリニューアルされたので、ガイドライン評価を公表することができました。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者による外部評価は行っていません。今後法人と相談していきたいと思えます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		・職員体制によっては研修会の参加ができないこともありましたが、できるだけ参加するようにしてきました。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・毎年、個人面談を実施して保護者の方からニーズや課題をお聞きしています。その要望を職員間で確認をして個別支援計画に取れ入れています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	・対象児童がいないことでの評価になります。今後対象者によっては検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・朝夕の職員ミーティングや職員会議などの時間の中で計画の確認を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・担当者からの提案に対し会議を行い意見を出し合うことでマンネリ化しないように気を付けています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・特に長期休暇中は買い物外出、調理レク、ゲーム大会などの活動を計画して実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別の時間を大事にすること、友だちを感じることで楽しみに繋がっていきけるような目標にしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝の職員ミーティングを行うことで1日の活動内容の確認を行います。また、月末には翌月の週間テーマを決めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・夕方のミーティングにて1日を振り返っています。ヒアリング報告など気が付いた点などを話し合い日誌や個人記録に残します。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・連絡帳、個人ファイルに活動内容や様子を記録しています。個人ファイルは管理者や児童発達支援管理責任者も確認を行っています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・中間モニタリング評価会議を実施して、各利用者の方の様子を見ながら見直しや継続を検討しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			・放課後等デイサービスの必要性や目的など総則の基本活動を取り入れて事業計画を作成し、支援にあたっています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・管理者または児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・学校の事業所連絡会や公開行事には参加し、学校と全体的な情報交換をする機会は作れています。下校時を中心に担任の先生と、その日の様子や連絡事項等の引継ぎを行っています。医療的ケアが必要な利用者の方は看護師からの情報もいただいています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・主治医から医療的ケアの内容や緊急時の対応等の指示書はいただいています。連絡体制を整えるまでにはなっていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・未就学児の事業所との連絡は行っていません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・情報提供を希望される場合は提供しています。法人内の事業所であれば引継ぎを行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・適宜、専門機関と連携を取り、支援を行っています。できるだけ研修にも参加するよう努めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・地域の子ども達との交流については日常的な活動の中で考えていければと思いますが、現状は行えていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・子ども部会に児童発達支援管理責任者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・年に1回の個人面談に加え、送迎時やお迎え時に当日の様子や状況をできるだけ詳しくお伝えするようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・各家庭しっかり子育てをしているのでペアレント・トレーニングの対象になる家庭はありません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時や保護者会等で説明を行っています。変更があれば随時お手紙を配布して説明するようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からご相談を受けた場合はその都度対応しています。相談内容によっては相談支援員や関係事業所とも連携するなどして対応に努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・年1回の保護者会を開催しています。夏には親睦会で家族同士の交流や連携ができるように機会を設けています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・法人内(第三者委員)また事業所にも苦情担当職員を置き対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・2ヶ月に1回ひろば通信を発行しています。夏には親睦会があるので特別号なども発行し、利用者の様子や活動内容を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・契約時には個人情報の使用に係れ同意書をいただき、必要以上の情報共有が無いよう気を付けています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・個人面談や連絡帳、送迎時にコミュニケーションを図っています。ご家庭に応じて日本語以外のローマ字等へ書き換えてお伝えしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・法人保護者主催のバザーは毎年開催しています。休日など施設を開放しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・緊急時マニュアル等のご利用初めの利用案内を持って説明を行っています。毎年感染症の時期には感染委員会からお便りを出すなど発信しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・避難訓練を年に2回実施し、また、災害時伝言ダイヤルなどを活用して保護者との緊急時の対応について確認を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・県や市が行う研修会には参加をするようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・各利用者ごとに身体拘束に関する同意書を作成し、個別支援計画と一緒に説明、同意を得て対応しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・個人面談時に保護者に確認を行い、給食会議を行って安全に提供していますが、医師からの指示書はいただいていない状況です。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット報告書を作成し、経過や内容について職員間で話し合い、法人責任者への報告もし、再発防止に努めています。